

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名： アグリサイエンスバレー整備課 シートNo： 99 作成日： 2024/6/14

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期基本計画	施策の大綱	Ⅵ産業振興	背景・課題	目的・意図
	施策の目標	1産業間の融合により、6次産業化を進める	常総市の地域農業は、担い手の減少及び高齢化、後継者不足、米価の低調傾向等を背景に、水稻栽培を中心としてその存続可能性に課題があります。 そこで、アグリサイエンスバレー常総においては、地域農業への波及を見据え、収益性に優れた農業モデルの展開が求められています。 また、都市エリアと農地エリアの連携による産業・雇用・交流の充実により、当該事業効果の市内への波及が期待されています。	・水田の汎用性を実証するとともに、付加価値性のある品目や生産性に優れた栽培手法等のモデル的展開を図ります。 ・都市エリアと農地エリアの連携による、生産・加工・流通・販売のバリューチェーン、雇用、交流の充実をエリアだけでなく、市内全域へ波及するよう取り組みます。 ・アグリサイエンスバレー事業におけるスマート農業を推進し、市内農業のデジタル化の寄与に取り組みます。
	施策	1アグリサイエンスバレー・道の駅常総		
	施策内容	アグリサイエンスバレーの推進		
	その他、根拠法令及び分野別計画	常総市農業基本計画		
	事務事業名	アグリサイエンスバレー事業		

② インプット（投入）

主な予算科目	会計名	
	一般会計	
	款	土木費
	項	都市計画費
	目	産業用地創出事業費
	事業	圏央道常総IC周辺整備事業費

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
農地エリア地権者協議会総会	農地エリア地権者協議会会員（地権者）	2回	1回	1社（誘致）	1社（誘致）
アグリサイエンスバレー連絡協議会の開催	アグリサイエンスバレー常総参入企業	2回	2回	4回（イベント）	1回（イベント）
道の駅常総の事業展開	生産者	随時	随時	約300名（生産者）	約200名（生産者）

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
農地モデルの実現事例	2事例	3事例
エリア全体における立地企業数	6社	7社

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
事業に伴う年間生産高	2.9億円	11.9億円
エリア全体における雇用人数	878名	2,000名

⑥ 点検

改善の余地						今後の方向性
☐	コスト	☐	活動	☐	成果	☐
業務の振り返り						
令和5年度は道の駅常総の開業をはじめとして進出企業の開業が相次ぎ、アグリサイエンスバレー常総が「まちびらき」を迎えました。アグリサイエンスバレー常総の目標である収益性に優れた農業モデルの立地も常総IC周辺に大きなヒト・モノ・コトの流れが創出されました。						常総IC周辺において創出されたヒト・モノ・コトの流れをより大きな事業効果として還元させるため、アグリサイエンスバレー連絡協議会においても「まちづくり」に対する議論を進め、参入企業だけでなく、地域住民、市民及び来場者との連携についても積極的に検討し、更なるエリアの価値向上及び地域への効果波及に向けて取り組んでまいります。 また、エリア内において創出された農業モデルや販路等について、地域農業への波及・連携をより進め、持続可能な農業先進都市づくりを推進してまいります。